

〔巻頭言〕

時短の功罪，利便の功罪

小 林 秀 樹

昨年9月15日に友人からこんなメールが来ました。(原文そのまま)

コバちゃんご無沙汰してます。中学同期の〇〇です。中国に駐在して6ヶ月目になりました。今、岐阜でも豚コレラの発生が問題になっていますが、私の駐在する中国遼寧省でも問題になっております。中国は世界一の豚消費国でもありますし、感染拡大を食い止めないと大問題になりそうです。私の勤務するプラントでは豚の脾臓からアミノ酸などの栄養素を抽出して経口ドリンク剤を製造していることから豚コレラの感染拡大は死活問題です。コバちゃんの博学知識からなんでもいいので豚コレラに関する情報を教えてください。感染ルートや予防策やトレーサビリティに関する事などなんでもOKです。△△社 中国本溪工場 ○○○○。

それから3か月後の12月28日のメール。

小林様

豚コレラの情報はこちらではほとんど入手できません。政府が情報コントロールしているようですね。豚コレラの感染が拡大してから、省間での豚取引が制限されている状況は変わりません。弊社の原料となる豚も主だった取引は山東省からなので、取引ができないと来年早々在庫がなくなる状況です。今のところ市民生活には支障はないようですが、これは情報がないからわからないとい

うことが正解ですね。しかし、私はこちらで豚肉をほぼ毎日食べてますけど・・・大丈夫でしょうかね。

中国国内では政府の統制でASFの情報確保は困難なようですが、処分できずに一般国道に100メートル以上にわたり放棄された死亡豚や生きたままガソリンかけられて火だるま状態の肉豚映像を現地のYou-tuberらが晒しています。

世界の豚の6割、4.5億頭が中国にはいますが、数年前からこの国も豚肉自給率が100%を下回っています。今回の感染拡大では1億頭以上が感染しているともいわれています。陽性農場の豚を死亡する前に違法に移動させたこと、これを闇で買い付け運搬する業者、自由市場での感染豚肉の売買等がウイルスを爆発的に拡げたいです。精肉以外の加工肉として、ハム、ソーセージ、点心(餃子)等のウイルスコンタミも問題です。日本でも今年は輸入豚肉価格が高騰し、それに牽連して国産豚肉価格も高騰、その他多くの農産物の消費者価格が上昇するでしょう。ASFが国内に入っても中国の問題は我が国にとっても大きすぎます。日本の貿易相手国として今や中国は米国を抜いて輸出入共に第1位です。

元々養豚業がほとんどなかったアフリカ。イボイノシシだけの病気だったため、その地で留まっていたASF、いつのまにか日本の対岸までやっ

てきてしまった。子牛の乳頭糞線虫症はオガ粉、BSEは肉骨粉だったし、PEDの拡散は血漿タンパクが疑われている。病気の侵入はどんなところに落とし穴があるかわかりません。だから今までと何か変わったことをするときは細心の注意が必要です。年末、埼玉の深谷に帰省しました。深谷ネギにクロバネキノコバエ感染が広がって大きな被害を出していました。ネギの呼吸を助けるのに昔は稲わらを使用していましたが、コンバインの普及で稲わらの確保ができず、代替で菌床堆肥を使ったのが原因といわれています。まさかと思われるような些細なことでも大事に至ります。とに

かく今はよく考えて慎重に行動すべき時だと思います。その目的は如何に病原体を入れないようにするかです。

中国養豚は近いうち焼け野原になるでしょう。しかしそれを契機にその数年後には衛生管理技術が整備された企業養豚から高品質の豚肉が大量生産され、日本に対しても輸出攻勢をかけてくるでしょう。その間多くの中国人研修生も来るでしょう。日本はASFの侵入を絶対阻止しなければなりません。それと同時にSPFの衛生基準をより強化し、科学的根拠を持って証明できるものをつくる必要があるでしょう。